

橋本市コミュニティバスに関する調査・アンケート調査の結果

1. コミュニティバスに関する市民アンケート

(1) 調査の概要

- ・ 調査の対象者：橋本市在住の満 15 歳以上の人 3,000 人
- ・ 調査対象者の抽出方法：平成 27 年 1 月 23 日現在の住民基本台帳から無作為抽出
- ・ 調査方法：郵送による配布・回収。無記名方式
- ・ 調査期間：平成 27 年 2 月 10 日～2 月 28 日
- ・ 有効回答数
 - 発送数：3,000 件
 - 回収総数：1,549 件
 - 無効数：0 件
 - 有効回収率：51.6%

(2) 調査結果（概要）

性別（n=1,533）

男：41.9%、女：58.1%

年齢（n=1,548）

15 歳～29 歳：10.4%

30 歳～44 歳：16.4%

45 歳～59 歳：20.9%

60 歳～74 歳：34.6%

75 歳以上：17.7%

コミュニティバス利用の有無（n=1,503）

ある：15.2%

ない：84.4%

コミュニティバス利用頻度（n=213）

運休日を除くほぼ毎日：1.4%

週に 1～2 日程度：16.0%

週に 3～4 日程度：4.7%

月に 1 日～数日程度：19.2%

年に数日程度：58.7%

コミュニティバス利用の有無（年齢別）

※相対的に年齢が上がるに従って利用率が上昇

15 歳～29 歳：9.0% → 75 歳以上：30.4%

コミュニティバスを利用する前に鉄道、バス、タクシーを利用していたか（n=235）

利用していた：71.5%

利用していなかった：28.5%

交通手段（n=162・複数回答）

路線バス：67.9%

電車：62.3%

タクシー：48.1%

コミュニティバスを利用しない理由（n=1,345）

自家用車、バイク、自転車を使用：81.4%

時間帯が合わない：23.3%

行き先が合わない：19.0%

鉄道、路線バス、タクシー等使用：17.3%

運行状況や停留所がわからない：17.0%

バス停が遠い、コミバスを知らない、その他：10%未満

コミュニティバス路線の見直しや増減便について（n=1,442）

廃止・減便すべき：17.3%

現状維持：35.8%

増設・増便すべき：34.9%

その他：12.0%

敬老バス乗車券について（n=1,445）

無料のまま：24.7%

ある程度の費用負担：67.5%

その他：7.8%

敬老バス乗車券を有料化する場合の望ましい1乗車あたりの負担額（n=793）

100 円未満：2.8%

100 円：48.2%

101 円～199 円：2.5%

200 円 : 35.1%
201 円～299 円 : 1.6%
300 円 : 7.3%
301 円以上 : 2.4%

コミュニティバスに関する意見（n=640・自由記述形式）

（多いものより 5 件）

- ・コミュニティバスの経路や順路、バス停の見直しに関する意見（208 件）
- ・コミュニティバスの重要性や存続の必要性、拡充の必要性を指摘する意見（203 件）
- ・コミュニティバスの増便や、運行時間帯・曜日の改善に関する意見（143 件）
- ・コミュニティバスの情報提供方法の改善に関する意見（99 件）
- ・敬老バス乗車券の有料化を支持する意見（79 件）
- ・
- ・
- ・
- ・敬老バス乗車券の無料の継続を求める意見（13 件）

2. コミュニティバス利用者アンケート

（1）調査の概要

- ・調査の対象者：橋本市コミュニティバスの乗客
- ・調査対象者の抽出方法：調査対象となった各便の全乗客を対象とした
- ・調査方法：コミュニティバス車内での配布・回収。無記名方式。
- ・調査期間：平成 27 年 1 月 日～2 月 26 日
- ・有効回答数
 - 配布数：1,005 件
 - 回収総数：985 件
 - 無効数：0 件
 - 有効回収率：98.0%

（2）調査結果（概要）

性別（n=894）

男：27.7%
女：72.3%

敬老バス乗車券の保有状況（n=892）

あり：54.7%

なし：45.3%

年齢：（n=887）

15歳未満：0.2%

15歳～29歳：4.5%

30歳～44歳：5.3%

45歳～59歳：8.5%

60歳～74歳：22.5%

75歳以上：59.0%

コミュニティバスの利用頻度（n=887）

ほぼ毎日：12.1%

週に1～2日程度：41.7%

週に3～4日程度：24.5%

月に1日～数日程度：14.3%

年に数日程度：7.4%

コミュニティバスの利用目的（n=898・複数回答含む）

帰宅：25.7%

買い物：24.3%

その他：18.4%

通院：17.0%

市役所・保健福祉センター：10.6%

通勤・通学：7.2%

コミュニティバスの利用理由（n=883・複数回答含む）

他に交通手段がないからしかたなく：44.6%

便利だから：39.4%

無料で乗れるから：10.4%

他の交通機関より安価で乗れるから：5.5%

有料化の場合のコミュニティバス利用意向（n=92）

利用する：87.0%

利用しない：13.0%

コミュニティバスがなかった時の交通手段（n=880・複数回答）

民間の路線バス：43.8%
電車：32.0%
誰かに自家用車で送迎してもらっていた：19.3%
徒歩：16.9%
タクシー：12.3%
自家用車を自分で運転：6.9%
外出できなかった：4.2%
自転車・原付・バイク：3.8%
その他：2.8%

※中学校区別の状況（路線バス・タクシー利用）

高野口中学校区（n=74）

路線バス：20.3%

タクシー：29.7%

学文路中学校区（n=19）

路線バス：10.5%

タクシー：21.1%

隅田中学校区（n=65）

路線バス：30.8%

タクシー：13.8%

紀見北中学校区（n=219）

路線バス：68.9%

タクシー：5.9%

紀見東中学校区（n=253）

路線バス：43.9%

タクシー：7.5%

西部中学校区（n=87）

路線バス：21.8%

タクシー：16.1%

橋本中学校区（n=133）

路線バス：39.1%

タクシー：16.5%

3. アンケート調査のまとめ

(1) コミュニティバスと路線バス、タクシーの競合状況について

○市民アンケート結果より

コミュニティバス利用したことのある人のうち

以前は路線バスや電車やタクシーを利用していた人→71.5%

紀見北中学校区（北ルート）→67.6%

コミュニティバスを利用する前に利用していた交通手段の割合

路線バス：67.9%

電車：62.3%

タクシー：48.1%

○乗降アンケート結果より

コミュニティバスがなかった時に利用していた交通手段の割合

路線バス：43.8%

タクシー：12.3%

紀見北中学校区（北ルート）

路線バス：68.9%

電車：65.8%

タクシー：5.9%

(2) 敬老バス乗車券と受益者負担について

○市民アンケートより

- ・市民の大半が「コミュニティバスを永く交通手段の1つとして続けていくためには、ある程度の費用負担はいたしかたない」と考えている。

・自由記述

有料化を支持する意見：79件

無料の継続を求める意見：13件

○乗客アンケートより

- ・敬老バス乗車券保有者：54.7%、非保有者：45.3%
- ・敬老バス乗車券が有料化されても利用する：87.0%

(3) サービスの改善について

○市民アンケートより

- ・コミュニティバスを利用しない理由（各年代共通）

① 自動車、バイク、自転車を利用するので必要ない

② 時間帯が合わない、行き先が合わない

・自由記述

- ① コミュニティバスの経路、バス停の見直しに関する意見
- ② コミュニティバスの重要性や存続の必要性等に関する意見
- ③ コミュニティバスの増便や運行時間帯、曜日の改善に関する意見

- ・コミュニティバスの年間経費（約 5,990 万円：H26 年度見込み）を承知しつつ、高齢化の進行を鑑みてコミュニティバス路線の現状維持・増設・増便を支持する市民が約 7 割に達している。



市民はコミュニティバスを評価しつつ、積極的なサービス改善を求めている。